**（計画様式１）**

翌年度に向けて、内容を更新してください。どこが更新されているか分かるよう、更新した部分については、黄色ハイライトをお願いします。

【計画様式１プログラム推進計画書】は、本委託研究開発の基本計画です。誤読を誘わない、わかりやすい表現での記入を心がけてください。

・申請書を参考に、本計画書を作成して下さい。適宜コピーペーストして構いません。

・採択通知に採択の条件やコメントがある場合、それを反映してください。

・申請書にもとづいた記載であっても、JSTから変更の検討を依頼させていただく場合があることをご了承ください。

黒字は書式および新たに記載すべき箇所を、青字・赤字（枠囲みや吹出し）は注釈や凡例を示しています。

提出の際には、注釈・凡例は削除してください。（計画様式3-1も同様です。）

**研究成果展開事業**

**START 大学・エコシステム推進型 大学推進型**

**２０○○年度採択**

**プログラム推進活動実施期間：　２０２０年１０月１日　～　２０○○年○月○日**

更新してください。

第１．０版

**＜主幹機関：○○大学、共同機関：○○大学＞**

主幹機関のみの場合は、共同機関部分は削除してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 主幹機関 | 総括責任者 | 所属 |  | | |
| 役職 |  | 氏名 |  |
| プログラム代表者 | 所属 |  | | |
| 役職 |  | 氏名 |  |
| 共同機関 | 共同機関責任者 | 所属 | 押印は不要です。 | | |
| 役職 |  | 氏名 |  |
| プログラム共同代表者 | 所属 |  | | |
| 役職 |  | 氏名 |  |

**改訂履歴**

実施中、計画変更が生じ、本計画書を改訂する際に使用する表です。

版番号は、①変更届での計画変更は「０．１加算」、②変更申請書での計画変更は「整数を増やし小数点以下０」としてください。

参加者に変更がある場合は、【Ⅵ．１．参加者リスト】を更新し、同表の【参加変更履歴】欄にも記入してください。

総括責任者、共同機関責任者、プログラム代表者、プログラム共同代表者の所属部署名・役職の変更については、変更届(経理様式４－②)を提出し、【Ⅵ.Ⅰ．参加者リスト】のみを更新、提出してください。

年号は西暦４桁で記載してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 版番号 | | 提出日 | 変更内容 |
| 凡例　（消さないで下さい） | 第１．０版 | ２０○年○月○日 | － |
| 第1．１版 | ２０○年○月○日 | Ⅵ．１　参加者リストの変更  ○山○夫が退任、△山△子を追加。  詳細は２０○年○月○日付計画変更届を参照。 |
| 第２．０版 | ２０○年○月○日 | 関連記載箇所（表紙、Ⅲ. 起業活動支援プログラムの実施内容、Ⅶ．特記事項）の変更  詳細は２０○年○月○日付計画変更申請書を参照。 |
| 第１．０版 | | ２０○年○月○日 | － |
|  | |  |  |
|  | |  |  |
|  | |  |  |
|  | |  |  |

I．目指すベンチャーエコシステム

共同機関がある場合には、個々の機関の目標についても記載してください。また、連携して進める内容については、明確に記載してください。

１．目指すベンチャーエコシステム

共同機関がある場合、連携してベンチャーエコシステム構築を目指す場合は、その説明を明確に記載してください。

個別にベンチャーエコシステム構築を目指す場合は、個別に記載してください。

２．大学発ベンチャー創出の支援環境（GAPファンド運用、起業活動支援プログラム、支援体制（人数、人材の確保、育成体制等）、規則整備、等）の整備

目指すベンチャーエコシステムの実現に向けて、支援終了時点および10年後にどのような状態を目指し、その実現のために、どのように大学における支援環境を整備していくのかについて、記載してください。

GAPファンドの運用については、必ず記載してください。

また、既に独自資金でGAPファンドを運用している場合は、拡充等について記載してください。

・支援終了時点

・１０年後

３．大学発ベンチャー設立数、大学発ベンチャーへ株式・新株予約権取得数（会社数）、及び大学発ベンチャーからの収入（知財、共同・受託研究、寄付）の計画

こちらの表には、支援終了時点及び10年後の累計数を記載してください。毎年度の実績は、年度報告時に作成いただく「報告様式１　プログラム推進報告書」に、報告欄を設けますので、そちらに記載してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | | 支援終了時点 | 10年後 |
| ベンチャー  設立数 | (研究成果ベンチャー) | 累計 |  |  |
| (その他) | 累計 |  |  |
| 株式・新株予約権取得数（会社数） | | 累計 |  |  |
| 株式・新株予約権　売却数・売却益 | (会社数) | 累計 |  |  |
| (総額) | 累計 |  |  |
| 知財収入 | (件数) | 累計 |  |  |
| (総額) | 累計 |  |  |
| 共同・  受託研究 | (件数) | 累計 |  |  |
| (総額) | 累計 |  |  |
| 寄附 | (件数) | 累計 |  |  |
| (総額) | 累計 |  |  |

４．大学発ベンチャーへの期待

大学発ベンチャーのIPOやM&A等、表の項目へ期待する数値を記載してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | | 支援終了時点 | 10年後 |
| IPO (件数) | 累計 |  |  |
| M&A (件数) | 累計 |  |  |
| 出資額 (総額) | 累計 |  |  |
| その他  (　　　　) | 累計 |  |  |

II．支援期間終了後の持続的な起業活動支援を実現するための資金確保

１．資金確保に向けた取り組み内容

支援終了後の持続的な起業活動支援を実施するための財源（GAPファンド運用や支援体制の維持に必要な財源含む）をどのように確保するのか、記載してください。

適宜、主幹機関と共同機関で分けて、記載してください。

２．収支計画

支援終了後から１０年後までの起業活動支援の収支計画について記載してください。

適宜、主幹機関と共同機関で分けて、記載してください。

III．起業活動支援プログラムの実施内容

共同機関がある場合は、共同機関との連携や役割分担についても記載してください。

１．支援プログラムの実施内容と体制

支援プログラムの内容とその実施体制について記載してください。

外部機関と連携する場合は、役割等を明確に記載してください。

２．研究開発課題の予定数とその根拠

研究開発課題の採択予定数、及びその根拠を記載してください。

３．年間スケジュール

スケジュール(募集、採択、運営、Demo Day等)を分かりやすく記載してください。

　・１年度目

　・２年度目以降

2年度目に実施する計画の内容を分かりやすく記載してください。

４．研究開発課題の研究代表者の要件(体制含)、選考方法（周知・シーズ探索等）、選考の観点(方針)、

審査体制

　・研究代表者の要件（体制含）

　・選考方法（周知・シーズ探索等）、選考の観点（方針）、審査体制

どのように課題を選考するのか、周知方法や事業化に資する技術シーズ探索の取組等を記載してください。

・選考の観点（方針）

・審査体制

Ⅳ．研究目的及び内容

「Ⅰ.目指すベンチャーエコシステム」「Ⅱ.支援期間終了後の持続的な起業活動支援を実現するための資金確保」「Ⅲ.起業活動支援プログラムの実施内容」を実現するための研究**（ここでは「プログラム推進」のことを指します）**及び内容につき、年度毎に、**３００文字以内で簡潔に**記載してください。

主幹機関に加え、共同機関がある場合は、機関ごとに記載してください。

主幹機関のみの場合は、共同機関の行を削除してください。

**この「研究目的及び内容」に記載した内容が、JSTとの委託契約書にそのまま転記されます。記載漏れ・間違いが無いようご注意ください。**

【１年度目（２０２０年度）】

○○大学（主幹機関）

・研究目的及び内容

・具体的な実施内容

○○大学（共同機関）

・研究目的及び内容

具体的な実施内容を記載してください。

この「具体的な実施内容」部分は、委託契約書には転記されません。

・具体的な実施内容

【２年度目（２０２１年度）】

適宜更新してください。

○○大学（主幹機関）

・研究目的及び内容

・具体的な実施内容

○○大学（共同機関）

・研究目的及び内容

・具体的な実施内容

【３年度目（２０２２年度）】

○○大学（主幹機関）

・研究目的及び内容

・具体的な実施内容

○○大学（共同機関）

・研究目的及び内容

・具体的な実施内容

【４年度目（２０２３年度）】

○○大学（主幹機関）

・研究目的及び内容

・具体的な実施内容

○○大学（共同機関）

・研究目的及び内容

・具体的な実施内容

【５年度目（２０２４年度）】

○○大学（主幹機関）

・研究目的及び内容

・具体的な実施内容

○○大学（共同機関）

・研究目的及び内容

・具体的な実施内容

　【６年度目（２０２５年度）～１０年度目（２０２９年度）】

○○大学（主幹機関）

・研究目的及び内容

・具体的な実施内容

○○大学（共同機関）

・研究目的及び内容

・具体的な実施内容

Ⅴ．他の起業活動支援プログラムとの連携、切り分け

学内含め、機関として既に実施している他の起業活動支援プログラム等との切り分けや連携について記載してください。

・オープンイノベーション機構、次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXT)を実施している場合は、連携について必ず記載してください。

・内閣府が実施する「世界と伍するスタートアップ・エコシステム拠点都市の形成」との連携が可能な場合は、その内容を記載してください。

・その他の起業活動支援プログラム（特に公的資金を元にしたもの）を実施している機関は、本事業との切り分けを明確に記載してください。

Ⅵ．プログラム推進体制

１．参加者リスト

主幹機関、共同機関、それぞれ作成してください。

「計画様式１別紙　プログラム推進計画書　参加者リスト」　を参照。

「計画様式3－１ 事業費支出・執行計画書（プログラム推進費）」に記載する内容と整合性を取ってください。

２．外部との協力体制

　（１）外注先、および外注内容

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 外注元 | 外注先（予定） | 外注の内容 |
|  | 今後、入札や見積競争により外注先を選定する場合は“未定”と記載してください。 | 外注の内容、発生理由、時期の見込み、外注先の選定理由、を記載してください。 |
|  |  |  |

３．主幹機関と共同機関の連携内容（共同機関がある場合のみ）

共同機関がある場合は、具体的な連携内容を記載してください。

Ⅶ．特記事項

１．評価結果に対応した見直し

○○○○○○○・・・

採択通知結果に明記された採択条件等を転記し、その条件等に対する見解とそれに対する対応策をご記載してください。

例）　採択条件に対する対応

条件等概要：「ビジネスモデル策定については、外部専門家のアドバイスを受けてください。」

対応策：外部の○○氏と２０２０年度下期中にコンサルタント契約を結び、起業家と共にその意見を参考にして慎重に事業化計画を策定する。

状況変化等に基づくプログラム推進計画の自主的見直しがある場合は、具体的に記載してください。

２．その他

Ⅷ．委託研究開発費（プログラム推進費）

・〇〇大学（主幹機関）



本項については、申請様式2「SCORE　大学推進型　予算計画書」のプログラ推進費部分をもとに、委託研究開発機関ごと（ＪＳＴより研究開発資金を受ける機関ごと）に記載してください。

機関毎に提出される計画様式３-1「事業費支出・執行計画書（プログラム推進費」の表紙と同じ金額が入ります。

※プログラム推進費のみを年度毎に記載してください。研究開発費については、別途作成してください。

※間接経費は上限を３０％とし、整数で記入してください。小数点以下は認めません。０％の場合も「０」と記載してください。

※円単位で記載してください。

　（直接経費の各費目は、千円単位に丸めて計上）

・○○大学（共同機関）



共同機関を設けて、複数の研究機関とJSTが委託研究開発契約を結ぶ場合に記載してください。

不要な場合は削除してください。

＊消費税及び地方消費税を含む。

＊間接経費率とは、間接経費を算出するための直接経費計に乗ずる計数である。